

さあ、受検してみませんか?

○後期技能検定の 申込受付はじまります!

技能検定とは、技能労働者が有する技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度です。技能労働者の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的としています。

検定試験は、毎年、前期・後期の2回に分けて、職種・作業・等級区分ごとに実技試験と学科試験を行っており、今回の後期日程では28職種について実施します。

技能検定に合格すると、厚生労働大臣又は沖縄県知事から「技能士」の称号を与えられます。

また、平成5年から、工業高校生を対象とした3級が新設され、多くの工業高校生等が実習で培った技能を試すべく検定にチャレンジするようになりました。



(平成20年技能検定試験の様子：型枠工事 洋菓子製造)

【実施公示】 9月1日(火)

【受験申請受付】 9月28日(月)～10月9日(金)

【実施期間】 11月30日(月)～2月21日(日)

【合格発表】 3月16日(火)

【問合せ先】 沖縄県職業能力開発協会

☎098-862-4278

【制度説明】

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/syokunou/ginou/>

○働き方を見直してみませんか?

仕事と生活の調和を考える講演会が開催されます!

うつ病の妻と自閉症の長男を守りながら、社長にのぼりつめた佐々木氏に、ワークライフバランスの必要性やそれを実現するための方策などについてお話いただきます。

◆日時 9月8日(火) 午後1時～3時15分

◆会場 沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ 彩海の間(2F)

◆講演 「今こそ、経営戦略としてワークライフバランスを!」

◆講師 佐々木 常夫 榊東レ経営研究所 代表取締役社長

◆定員 150名 どなたでも参加できます 入場無料

◆問合せ先 県雇用労政課

☎098-866-2366

Q 職場の人間関係は円滑にする秘訣は?

A 職場の雰囲気がとても良く協力的なので恵まれています。先輩は尊敬できる人ばかりで、時に厳しく時に優しく指導してもらっています。



工具類はいつも
整理整頓を
心がけています。

Q この仕事に求められる資質は? ホンダに入社して良かったことは?

A ドアミラーが動かない、エンジンが不安定など、故障の種類も原因もいろいろ。分解するのは最終手段で、原因となる可能性を一つひとつ確かめる根気強さが必要です。あらゆるホンダ車に精通しなければなりません。好きなことなので苦に感じません。次々と導入される新しい技術に対応するための勉強や資格取得も欠かせませんが、ホンダは独自の資格制度もあり、勉強できる環境が整っています。

Q 同じ道をめざす人へ経験の中からアドバイスをしてほしいです。

A 同じ道を進む人へ経験の中からアドバイスをしてほしいです。好きなことなので辞めたいとは思いませんが、作業でミスをしたときはお客様にも会社にも迷惑をかけてしまい辛く感じました。仕事では一台を一人で担当するので責任の重さを実感。同じ失敗を繰り返さないよう何度も確認し、作業の際はお客様へ事前や事後の説明をしっかり行い、ク



Q 子どもの頃から機械が好きで、自動車部品を扱う会社での勤務経験が自動車整備士になる気持ちを決めました。テレビ番組で紹介されていたホンダの創業者である本田宗一郎氏のチャレンジ精神に感銘し、ぜひこの会社で働きたいと志望。働くことができてとても幸せですね。

Q 一日の平均的なスケジュールは?

上司からもヒトコト



明るくて誠実な働きぶりは社内外で好感度大。職場のムードメーカー的存在ですね。

新城は現場の準責任者としてがんばっています。フロント業務の経験もあり、お客様・社内でのコミュニケーション能力も評価しています。現場・営業・事務の三位一体の業務で、全国第二位の顧客満足度を得ている沖縄をさらに高めるために力を発揮して欲しい。今後は営業職も経験し、視野を広げて成長してもらいたい。

沖縄ホンダ株式会社 大平店長 千葉幸三さん

仕事現場ウォッチング

興味のあるシゴトはあるけれど、その実態がよくわからない。
やりがいや本音、現場の空気をもっと知りたい!そんな思いに応えてさまざまなシゴトをレポート!
ヒントはいつも現場にありました!

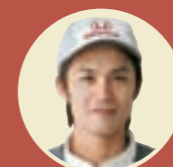
●今月のシゴト・ターゲット 「技術系のシゴト(自動車整備士)」

沖縄ホンダ株式会社 大平店サービススタッフ 新城 安茂さん(27歳)

自動車整備士のシゴトとは
確かな技術力でドライバーの安全を守るシゴト。長時間の作業や困難な修理に向き合う忍耐力も必要です。

自動車は安全かつ正常に走行できるように、自動車に関わる電気や機械系統の専門技術・知識を駆使し、点検や整備、故障の修理を行うのが仕事です。車や機械が好きであることはもちろんですが、一万点以上といわれる自動車の部品の中から故障箇所を探すため、確かな技術力や経験、そして原因を一つひとつ探る根気強さも求められます。主な勤務先は民間の自動車整備工場や車検場、ディーラーと呼ばれる自動車販売会社。自動車整備士(一級・二級・三級)の国家資格取得が必須条件で、階級によって扱う自動車の種類や整備内容、技能レベルも異なります。一家に三台も珍しくない車社会の沖縄ではニーズの高い職種といえます。

PROFILE 新城 安茂さん



1981年糸満市出身。高校卒業後、(株)デンソーにて1年半の県外期間労働を経て帰沖。2004年4月、県立浦添職業能力開発校自動車整備科入学。自動車整備士国家資格2級を取得し、2006年4月沖縄ホンダ株式会社入社。大平店サービススタッフとして自動車の点検や整備、修理を行う。



車も機械も好きだから毎日楽しいですね!

Q この仕事に就いたきっかけは?

A 子供の頃から機械が好きで、自動車部品を扱う会社での勤務経験が自動車整備士になる気持ちを決めました。テレビ番組で紹介されていたホンダの創業者である本田宗一郎氏のチャレンジ精神に感銘し、ぜひこの会社で働きたいと志望。働くことができてとても幸せですね。

Q 今までの仕事を辞めたいと思ったことは? 仕事の苦勞ややりがいは?

A 好きなことなので辞めたいとは思いませんが、作業でミスをしたときはお客様にも会社にも迷惑をかけてしまい辛く感じました。仕事では一台を一人で担当するので責任の重さを実感。同じ失敗を繰り返さないよう何度も確認し、作業の際はお客様へ事前や事後の説明をしっかり行い、ク

